

第1回黒部市総合教育会議 議 事 録

【日 時】平成27年8月27日（木）15:00（開会 15:00／閉会 16:15）

【会 場】黒部市役所黒部庁舎3階301会議室

【出席者】6人

黒部市長 堀内康男

教育委員 村田聖士（委員長）、大丸勝男（委員長職務代理者）、水野恵子、川崎正美

教育長 能澤雄二

【事務局】13人

（市長部局）

総務企画部長 柳田 守、総務課長 長田行正、総務課長補佐 越 雄一

（教育委員会事務局）

教育部長 瀧澤茂宏

事務局次長・学校教育課長 御田泰晃、同・生涯学習課長 飯野 勉

スポーツ課長 魚谷八寿裕、図書館長 中谷松憲、教育班長 霜野好真

学校教育班長 尾村国昭、社会教育班長 横山栄人、ジオパーク推進班長 西中雅博

学校教育課長補佐 神保 竜

【傍聴者】2名（報道機関）

【会議次第】

- 1 開会（司会）
- 2 市長挨拶
- 3 黒部市総合教育会議の設置について（設置要綱及び傍聴規程） 資料1
- 4 協議・調整・報告事項
 - （1）黒部市総合教育会議の概要について 資料2
 - （2）黒部市教育に関する大綱（仮称）の策定について 資料3
 - （3）今後の日程について 資料4
 - （4）当面する黒部市教育の現状と課題等
- 5 閉会（委員長挨拶）

1 開会

- ・平成27年度、第1回黒部市総合教育会議を開会する

2 開会挨拶

○市長

- ・総合教育会議を招集したところ、委員各位には、ご多用のところ、参集賜りお礼申し上げます。
- ・総合教育会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、新たに定められたもので、市長が召集することになっている。
- ・このたびの改正は、教育委員会の組織改革と併せ、互いに独立した執行機関である、市長と教育委員会が、より一層強固な関係を構築し、教育行政に関するそれぞれの役割をしっかりと認識し、

密接な連携を図っていくことを目的としている。

- ・本日は1回目となるが、協議事項については、本市教育に関する事項全般である。
- ・双方の意思疎通、共通認識を図るという趣旨からも、必ずしも型にはまった議論ではなく、ざっくばらんにご発言いただき、有意義な意見交換の場としていきたい。

3 黒部市総合教育会議の設置について

(1) 総合教育会議設置要綱及び傍聴規程について(資料1)

○事務局説明概要

- ・法に基づき定める、文言整理、会議の事務局を総務課とし庶務を教育委員会事務局とする、傍聴規定を別途設ける

○委員からの質問・意見等

- ・特になし

4 協議・調整・報告事項

(1) 黒部市総合教育会議の概要について(資料2)

○事務局説明概要

- ・会議趣旨、招集者、構成員、会議の位置づけと効力、会議の公開・非公開、議事録作成など

○委員からの質問・意見等

- ・特になし

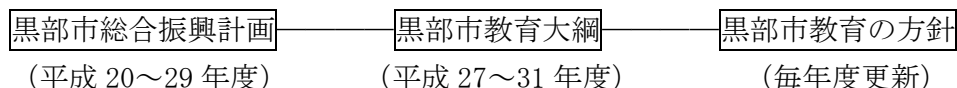
(2) 黒部市教育大綱(仮称)の策定について(資料3)

○事務局説明概要

- ・策定義務者、策定の場、対象期間、記載事項、公表について
- ・策定の基本方針(事務局提示案)

*市総合振興計画(10年)と黒部市教育の方針(毎年度更新)との中間的位置づけとする

*内容は、教育の方針の骨格部分とする(各年度更新部分を除く)



○委員からの質問・意見等

Q: 教育の方針の骨格は変わることは無いのか。

A: 制度改正等により変わることもありうるが、その際は、総合教育会議において、大綱の一部を修正することは可能と考える。

Q: 大綱案の対象期間の終期を総合振興計画の終期と合わせてはどうか。

A: 大綱の対象期間は、法的に明記されていない。また、地方自治体の実情に合わせ、総合教育会議の判断に委ねられていることから可能と考える。

- ・大綱の位置づけにかかる方針、構成内容等については、概ね了承された。
- ・対象期間は再検討する。

(3) 今後の日程について(資料4)

○事務局説明概要

- ・今年度は3回を予定している。（第2回：11月頃、第3回：2月頃）
- ・第2回は毎年度開催している市長と教育委員との予算に関する意見交換の場を充てる。
- ・第3回は、市議会3月定例会前に開催。大綱を確定させ、議会へ報告、公表となる。

○委員からの質問・意見等

Q：第2回で、予算関係を協議する場合、非公開となるのか。

A：教育委員会から、予算に関する一般的な事項について要望、意見交換することは、非公開とする必要は無いと考える。非公開とすべきは、資料2で示す「次年度の新規予算事業に関する具体的な補助対象の選定する場合。」や「意思決定前に情報を公開すると公益を害することが想定される場合。」など。この件については、傍聴者への配慮もあり、内容等について、要検討事項とする。

(4) 当面する黒部市教育の現状と課題等について

○市長

- ・総合教育会議のメインとなる情報交換の機会であり、どなたからでもご発言いただきたい。（以下、大きく分けて5つの話題について、意見交換が行われた。）

【①オリンピック合宿の誘致活動】

○委員長

- ・オリンピック合宿地の誘致について、どのように考えているのか。

○市長

- ・誘致には、まず受け入れられる施設があるかから始まる。その上で、付随する様々な条件をクリアしなければならない。思いや熱意だけでは、超えられないハードルがあると認識しているが、夢を持ってチャレンジしていくことが大切と考えている。

○事務局（スポーツ課長）

- ・これまでの地域における大会開催経過などから協議を絞り込み、具体的な検討を進めている。

○市長

- ・参考までに、例えば、どのような競技を望まれますか。

○委員長

- ・個人的には、サッカーです。

【②地域観光ギャラリー、ジオパーク】

○委員

- ・北陸新幹線が開業したが、駅前の地域観光ギャラリーの入場者はわかりますか。

○事務局（生涯学習課長）

- ・手元に資料はありません。

○教育長

- ・全体の数値ではありませんが、参考として、ゴールデンウィーク期間中（4/25～5/6）の入場者数は、1Fも含めた全体の来館者は約18,000人であり、そのうち2Fの展示空間を訪れた人数は、約3割の5,200人でした。

○市長

- ・現在、日本ジオパーク認定一周年お迎え、様々な催しを行っている。2020年の東京オリンピック開催までに「世界ジオパーク」への加盟を目指している。
- ・宇奈月花崗岩に含まれていたジルコンは、38億年前に形成されたものであるが、一方では、黒部川にむき出しになっている花崗岩は、ほんの80万年前のものが露出している。“ほんの”という理由は、通常、数百万年から数千万年かけて、地表に姿を現すとされることから考えても地質学的に大変希なケースであり、地殻変動のすさまじさと、黒部川の激流が作りだしたとされる。黒部川の大自然がいかにダイナミックであるかがよくわかる。これらを活用しない手は無く、国際的にも重要な遺産を全世界に発信する絶好の機会といえる。

【③学校教育（小中学校再編計画）】

○委員

- ・小中学校再編計画について、現在進められているが、生地小、村椿小などの統合については、どのような状況なのか。また、どのような考え方をもっているのか。

○事務局（学校教育課長）

- ・小中学校再編計画（平成24年度策定：15年計画）に基づき、平成25年度から順次進めており、前期5年間の事業として、平成26年度、たかせ小学校（旧東布施小、田家小）が開校。現在は、来年度開校予定の桜井小学校（前沢・三日市小）について協議を進めている。後期5年間には、中学校の統合を予定しており、今年度から説明会を順次実施しているところ。残りの5年間は、将来構想と位置づけていますが、現在、前期・後期の段階であり、具体的な検討には入っていません。

○事務局（教育部長）

- ・将来構想の部分は、年度的には10年以上先のことであり、対象となる子どもが生まれていない世代もある。また、児童数の推移によっては、統合校の組合せや学校数も含め、計画を見直すことも考えられる。

【④市役所旧庁舎跡地利用、図書館建設】

○委員長

- ・図書館について、今後、具体的に検討に入ると思うが、他県の先進事例を参考に誰もが利用しやすい開かれた図書館となるようお願いしたい。

○事務局（図書館長）

- ・庁舎跡地活用検討委員会から示された提言があったところ。今後、市長から、その方向性について発言があると考えており、その発言も踏まえて協議を進めていく。また、総合振興計画において平成29年度に予算措置が予定されており、事務方としては、市長の発言に即し、対応に遅れることのないよう準備してまいりたいと考えている。

○市長

- ・提言では、図書館を核とした複合施設として3案。①多機能を有する図書館、②図書館に生涯学習機能を複合させた施設、③図書館と生涯学習や子育て支援、ビジネス、市民活動機能のいずれかを複合させた施設とされた。市議会12月定例会で、市の方向性を示す予定。

【⑤宮野運動公園の整備、総合体育センターへのアクセス】

○委員

- ・宮野運動公園陸上競技場が老朽化しており、改修等整備計画はあるのか。また、8号バイパスの開通により、総合体育センターへのアクセスがわかりにくくなっている。

○事務局（スポーツ課長）

- ・宮野運動公園陸上競技場については、中・長期的な計画をもって対応していきたい。
- ・8号バイパスの開通により、総合体育センターへ通じるアクセス道路に変化が生じている。今後、案内看板の設置について検討していく。

○市長

- ・市内各所へのアクセスという観点で少し情報提供いたしますが、新たなコミュニティバス路線として、「石田三日市線」の運行を開始する。
- ・石田地内各所と三日市（市役所、市民病院、あいの風鉄道駅ほか）をつなぐ路線であり、9月25日から、運行開始の予定。

5 閉会

○市長

- ・今回は第一回ということもあり、会議設置要綱、会議運営にかかる基本的事項、大綱策定における基本方針等について確認した。
- ・また、協議、調整事項として、本市の教育行政全般にわたり、意見交換をさせていただき、一定の成果が得られたものと思っている。
- ・本日の会議次第に基づく事項はこの程度とし、次回以降さらに意見交換してまいりたい。
- ・これをもって、今会議の座長の務めを終わりたい。

○委員長

- ・本日は、第一回黒部市総合教育会議ということで、法改正後初の取組となったが、各施策に対する市長の考えなども大いに伺うことができ、教育行政を担う教育委員会としても、大変有意義な時間であった。委員におかれましても、闊達なご意見をいただきましたことに対し、お礼申し上げ、閉会の挨拶としたい。

以上

議事録調製 黒部市教育委員会事務局